

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑪ 【ボランティア】 他の人や地域社会に役立つことを自分から進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして共感する。	総合的な学習

【題材】 被災地に学ぶ

【対象】 全学年

【実践の概要】

昨年度1学年のみで行った被災地訪問だったが、今年度は全学年が、地元商工会議所やライオンズクラブの皆さんのご支援のもと、次のとおり被災地訪問（ボランティア活動）を実施することができた。

平成24年度から25年度までの石鳥谷中学校における復興教育の概要

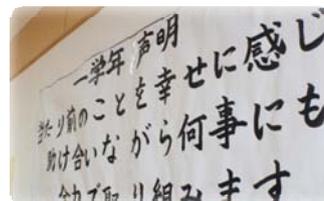
	活動内容	第1学年	第2学年	第3学年	生徒会活動	P T A活動
平成24年度	主な事前学習	講演会 被災校長			夢まつり復興支援	1学年行事支援
	主な訪問学習	県事業活用			復興うちわ	
	訪問先	陸前高田			復興Tシャツ	
	学習内容	見学・語り部学習			募金	
	ボランティア	石拾い等				
	主な事後学習	募金 次年度活動苗代 個人レポート 小学校での報告会				
平成25年度	主な事前学習	講話 被災地教員 講演会 三陸ダイバー 佐藤寛志氏	前年度の活動を生かす 訪問計画立案	講話 被災地教員 講演会 三陸ダイバー 佐藤寛志氏	夢まつり復興支援 復興活動発表 募金	1～3学年行事 支援 講演会
	主な訪問学習	ライオンズクラブ連携	学年独自	県事業活用・商工会議所連携	その他	復元納棺師
	訪問先	大船渡・陸前高田	陸前高田	陸前高田・大船渡	1・2年緑のバトン	笹原留似子氏
	学習内容	見学・語り部学習	見学・語り部学習	見学	運動参加	
	ボランティア	花壇づくり	田植え、草取り、花植え	草取り、海岸清掃	苗木育て	
	主な事後学習	募金 個人レポート 学級学年声明文	個人新聞 事後交流	個人新聞 事後交流		

三陸ボランティアダイバーズ
佐藤さん 講演会↓



↑ 復元納棺師
笹原さん 講演会

緑のバトン 苗木の世話→
学年声明文↓



【実践の様子】 ボランティア活動当日の動き



< 1 学年 >

大船渡市教育委員会の先生の講話を伺い、その後、陸前高田市に向かい被災の状況を自分の目で見る事ができた。当日はあいにくの天候で花壇作りのボランティア活動は中止となったが花のプランターをプレゼントしてきた。

< 2 学年 >

昨年度、石拾いのボランティアを行った陸前高田市上長部を再訪問した。昨年募金で集めたお金で花の苗を購入し、現地では田植え・花植えを行った。秋には収穫したお米が現地から届き、再度交流が行われた。



< 3 学年 >

「高田松原を守る会」の活動に参加し、松の苗畑の除草ボランティアを行い、守る会の会長さんの講話を伺った。その後大船渡市に向かい綾里海岸の清掃ボランティアを行った。

< 緑のバトン運動 >

朝日新聞社が主催する「緑のバトン運動」に参加し被災地に贈る苗木330本を1、2年生で育てている。一人一鉢自分の苗木を1、2年間大切に育て、その後岩手、宮城、福島、青森の沿岸部に植樹することになっている。

【生徒の感想】

私たちは震災を忘れず、未来に伝えていくことが大切だと思いました。今まで当たり前にしてきたこと一つ一つを幸せだと感じ感謝の気持ちを持って毎日過ごしていきます。(1年女子)

【まとめ】

今年度全校生徒が被災地を訪問し、何らかの形で被災地の復興や自分の生き方について考える事ができたのは大きな成果だった。「今自分はどう生きるべきか」という問いを生徒自身が持つことができた。そして、その答えの一つとして、「今を一生懸命生きること」「当たり前の生活に感謝すること」が生徒の心に育まれた。被災地訪問を通して、学ばせていただいていることは多い。このことを地域に発信し、更に自分たちの住む郷土や地域作りに繋げる取り組みを目指したい。

【地域の思い】

中学生のこの時期だからこそ被災の現状を自分の目で見て、自分達に何が出来るか考えることが大事だ。5年後10年後に自分の生き方や他の人との関わりにかして欲しい。今後も様々なバックアップしていきたい。